

待 兼 山

大阪大学経済学部同窓会

2012年（平成24年）4月1日 第28号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>

Q 大阪大学経済学部同窓会

検索



同窓会への期待

同窓会名誉会長
大阪大学大学院経済学研究科長・
経済学部長
二神 孝一

阿部顕三前経済学部長が理事・副学長に就任された後を受け、昨年8月に経済学部長・経済学部同窓会名誉会長に就任しました。同窓会の代表幹事会・新年会にも参加させていただき、経済学部同窓会の活動に触れることができ経済学部卒業生の活躍の一端を知ることができたことは大きな喜びでした。

今年度も多くの新生を迎えることができ、多くの優秀な卒業生を送り出すことができました。本学経済学部のカリキュラムは基礎から応用へと体系だったカリキュラムで構成されており、実践的な経済学・経営学を学ぶためのコースがしっかりとしています。それに加えて少人数の学生で構成されるゼミナール形式の授業を行うことで、最新の経済学や経営学の手法を用いて非常に優れた研究論文を書き上げる学生が生まれています。また、経済学部は大阪大学の中では留学生の在籍比率が高い学部です。そのため学生はさまざまな国の学生たちと知り合うことができ強い刺激を受けることができます。

日本経済は現在重大な岐路に立たされています。韓国・中国・インドなどが手強い競争相手として追いつけてきています。さらに、年金制度をはじめとしてこれまでの制度では少子高齢化に対応できないことは明らかです。これまでのやり方と同じことをしては日本経済が立ち行かなくなる恐れがあり、新しいやり方を考えだす想像力が求められています。しかし一方で、さまざまな有益な経験を活かすことも非常に重要です。経済学部同窓会は有益な経験と新しい知を結合させてゆくことのできる場を提供する格好の組織であります。世代を越えたつながりができる場として経済学部同窓会に大いに期待しています。

またこの度、同窓会報「待兼山」で大阪大学未来基金「経済学部・経済学研究科教育研究事業」のご案内をお知らせしております。この基金により、経済学部の学生たちの海外の大学への留学など学生たちの様々な活動を支援してゆくつもりにしております。はなはだ僣越ではございますが、皆様のご協力をいただければ幸いです。

同窓会をさらに発展させてまいりましょう。



東日本大震災から一年

経済学部同窓会 会長
犬伏 泰夫

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災から早や一年が過ぎました。地震・津波に加

えて原子力発電所の事故という、まさに未曾有の災害が我が国を襲い大きな爪痕を残しました。復旧へ復興へと掛け声は聞こえるものの、ガレキの処理さえ捗らず原子力発電所の事故原因の究明が置き去りにされたまま点検休止中の設備の安全性が運転再開にむけて議論されるという、まことに理解に苦しむ対応ぶりです。

大災害への対応に加え、社会保障、租税、行政、選挙といった制度改革、更には沖縄の米軍基地問題、TPPへの参加と大きな課題が目白押しのなか、どれひとつ解決に向けて着実な前進をみせているものがないのも心許ない限りです。

一方で、情報・人・物の国境を越えての移動はますますスピードを上げ世界を小さくしています。好むと好まざるにと拘らず、グローバル化が進むなかでの国と国との多面的な競争が激化しています。将来に向け、豊かな生活と美しい文化を守って行くためには、一人一人が様々な面でのレベルを上げ、国としての力を磨いて行かねばなりません。

大阪大学では平野俊夫教授が総長に就任され、「22世紀にも輝き続ける大学」を目指して活動を展開されています。視点をグローバルに持ちつつ、「大阪大学21世紀懐徳堂」を始めとする大学を地域・社会に近づける活動にも力を注ぎ、高度な「研究と教育」に基づく人材養成という大学に求められる役割りを一層充実発展させようとの活動方針は、まことに時宜にかなったものだと思います。

東京大学では「秋入学」への移行を検討することになりました。世界の多数派である「秋入学」に移行することで、グローバル化への対応を図ろうとするものです。もとより「秋入学」だけで問題が解決するものではありませんが、世界を意識するその姿勢は評価に値すると思います。これまでも種々の国際交流活動が高く評価されて来た大阪大学も、世界を意識し地域社会に密着した「輝く大学」であり続けて欲しいと願っています。

経済学部同窓会としても、魅力ある同窓会を目指して活性化に努めると共に、大学の発展を支援して行きたいと思いません。会員の皆様の一層のご支援をお願い致します。

期会、ゼミ会だより

(順不同)

「楽営会」(小林敏男ゼミ)

平成23年3月19日、「ホテルグランヴィア大阪」において、小林敏男ゼミの同窓会「楽営会」が開催された。『社会で活躍されている先輩方の貴重なお話は、これから社会に出ていく私たちにとって、たいへん有意義なものでした。』

(和田さん：小林ゼミ4回生)



新制11期(昭和38年卒)同期会

平成23年4月6日、新制11期卒業生33名で、「母校を訪ねる同窓会」を開催した。総合学術博物館見学、豊中キャンパス散策の後、浦井憲教授(同窓会大学連携部長補佐)から、阪大の現況をご説明いただいた。その後、懇親会を開催し、卒業50周年での再会を約束した。



藤田ゼミ「藤田先生の米寿を祝う会」

平成23年10月15日、「藤田晴先生の米寿を祝う会」にゼミ生18人が集まった。藤田先生は退官後も近畿大学などで教鞭を取られ、俳句やホームページなど、今もチャレンジを欠かさないことがお元気の秘訣だと感じました。



新制4期(昭和31年卒)同期会

毎年11月第1金曜日に、定会場「パノラマスカイレストラン・アサヒ」(IMPビル26階)で開催している同期会を、平成23年11月4日に開催した。今回の参加者は11名。次回は、平成24年11月2日(金)に開催の予定である。



新制13期(昭和40年卒)同期会

新制13期同期会を、平成24年2月10日、初参加も含め21名の参加を得て、「大阪大学中之島センター」で開催した。昨年6月の熊本懇親旅行等の懇談などで楽しい時間を過ごした。次回、平成25年2月15日(金)の再会を約して散会した。



熊本旅行(6/24~26)の様子

新制6期(昭和33年卒)同窓会「33会」

平成23年11月22日に、恒例の新制6期同窓会「33会」を開催した。当会は毎年11月に開催し、藤田元教授が毎回ご出席下さっている。今年は、藤田先生が米寿、我々会員の多くも喜寿という祝すべき年であり、藤田先生と会員21名で和やかな時間を楽しんだ。



「一水会」第160回記念例会

「一水会」は、昭和28年入学の法経学部の関西在住有志が昭和53年に結成し、現在は年4回の第1水曜日に開催している。今回、第160回記念例会が、平成23年12月7日に「関西文化サロン」で開かれ、28名が出席する楽しい夕べとなった。次の目標の40周年記念例会(平成25年)まで元気に過ごそうと皆で約束した。

新制14期(昭和41年卒)同期会「碌々会」

同窓会総会の記念講演での、同期の古川氏(日立造船(株)会長・社長)登壇に合わせ、懇親会の2次会として同期会を開催し、11名が集まった。次回は4月9日(金)に、渋谷にて開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。



新制7期(昭和34年卒)「待兼三四会」総会

平成23年3月23日、「ガーデンシティクラブ大阪」にて、「待兼三四会」総会を開催した。会には、恩師の藤田晴先生と会員15名が集まり、楽しい時間を過ごした。次回は、30回の記念総会と藤田先生の米寿を盛大に祝うことを約して散会した。



新制9期(昭和36年卒)「山麓会」

会の発足から45年が経ち、テーマも日本経済や産業界の動向等から、今は健康問題など身近なものが多い。現在は常時20数名が出席し、5月と11月の年2回開催している。お互いの健康を確認する意味で、数年後の喜寿までは、会合を続けることにしている。

新制15期(昭和42年卒)「いちご会」コンパ

新制15期生による「いちご会」ゴルフコンペを、毎年春・秋に開催している。昨春の第16回は、平成23年5月19日、宝塚高原ゴルフクラブで開催した。多くの方のご参加をお待ちしています。参加希望者は幹事の菅さんにご連絡ください。



「期会・ゼミ会だより」は、同窓会ホームページにも掲載しています。

各期代表幹事等への連絡を希望される方は、事務局までご連絡ください。

記念講演会 「^{オカ}陸にあがった日立造船 ～脱造船経営の推進～」

日立造船株式会社 取締役会長兼社長 古川 実

本日は、日立造船の創業から脱造船への経緯、今後目指していく姿についてお話いたします。当社は、英国人のE.H.ハンターが1881年に安治川河口に大阪鉄工所を創設したのが起源です。1890年には日本初の鋼製汽船を建造、1914年の株式会社化を経て、1936年には日立製作所の傘下に入り、1943年に社名を日立造船としました。

戦後、高度成長期には当社は造船をベースに大幅に業容を拡大させ、1960年にはスイスのフォンロール社からごみ焼却プラントの技術導入を行う等、現在の主力事業となる陸上部門の強化を図りました。しかし、オイルショックによる造船市場の落ち込み後、市場は回復するも円高によって韓国に市場を奪われ、収益性が低下しました。

そこで、陸上部門であるごみ焼却施設や橋梁といった社会インフラ整備へ事業を転換し、最終的には、創業事業である造船部門の分離を断行しました。分離に伴い巨額の特別損失が発生し、株価も一時19円まで下落しました。そして、まさに対応が「待ったなし」の状況となった2005年4月に、私は社長に就任し、「先憂後樂

の経営」と「仕込み経営」の考え方をベースに経営改革に着手してきました。

当社の経営改革の取組みには、2005-2010年の「Hitz Innovation」、2011-2016年の「Hitz 2016 Vision」があります。「Hitz Innovation」では、赤字の排除、企業文化の変革等により会社基盤の再構築を行い、今年度から始まる「Hitz 2016 Vision」において、事業規模5,000億円への拡大、収益性の向上及び財務体質の更なる強化に取り組んでいます。具体的には、Inova社とのシナジーを生かしたごみ焼却関連事業の全世界展開、次世代太陽電池である色素増感電池の開発・事業化、GPS波浪計等社会インフラ整備・防災の技術開発等があります。また、海外展開力の強化、ソリューション提案力の強化にも注力中で、その一環で、大阪大学との共同研究も実施しています。

日立造船は2011年4月1日に創業130周年を迎えました。将来に向け、環境・エネルギーのグリーンエネルギー分野、社会インフラ整備・防災の分野で一層の飛躍を目指していきたいと思えます。

主な審議事項等

(1) 審議事項

副会長の永谷裕昭氏(20期)の退任に伴い、菅沼敬行氏(18期)が新副会長に、事務局長の西尾方宏氏(23期)の退任に伴い、安竹素之氏(28期)が新事務局長に、会計監査の三谷喜一郎氏(15期)の退任に伴い、西尾方宏氏が新会計監査に、それぞれ選任されました。

(2) 報告事項

会計の白井憲治郎氏(46期)から、平成21年度、平成22年度の会計報告があり、続いて会計監査の脇田寛男氏(17期)から、会計監査報告が行われました。引き続き、会計の白井氏から、平成23年度及び平成24年度の予算報告が行われ、総会の議事は全て終了しました。

東京待兼会だより

会長 八木 順之

この春、社会へ巣立つ皆様、おめでとうございます。昨年は、東日本大震災、景気の低迷と大変な一年でした。このような中、逆転の発想と新たな取り組みで、時代を切り拓くパイオニアとして、大いにチャレンジ精神を発揮していただきたいと思えます。

東京待兼会は、東京を中心に東日本全体で3千人を超える卒業生を有しています。このような時こそ、同窓会組織が応援できる場面もあります。物怖じせずに諸先輩に知恵を拝借されることをお奨めします。

現在は、年2回、春・秋に懇話会を開催しています。最近は、法学部(青雲会)をはじめとする他学部や、大阪外国語大学(咲耶会)などの同窓会からも参加されるなど、交流が深まってきました。講師もその時々に対応しい先生方をお招きし、会員の知的向上と懇親



に役立っています。

また、年5回を超えるゴルフコンペには、毎回30名を超えるメンバーが参加し、多いに賑わっています。

参加する喜びや価値がある懇話会を目指していますので、若手の皆さんも、ぜひ友人と一緒に参加してください。

最後に、皆様のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

東京待兼会 総会&春季懇話会(OFC共催)

日 時：6月2日(土) 16時～

場 所：学士会館(東京都千代田区神田錦町)

記念講演：「原子力に関する最近の動向」

坂下嘉章氏(阪大工学部原子力工学科卒)

HP：<http://www.geocities.jp/tokyomachikanekai/>

連絡先：事務局長 吉田文人(yoshida_jisedai_ken@yahoo.co.jp)

名古屋待兼会だより

名古屋待兼会は経済学部・法学部の卒業生を中心に理系学部出身の方を含め、東海3県在住の方を会員に、親睦と情報交換を行っています。11月の総会と年4回の例会、年2回のゴルフコンペを開催しており、例会では毎回20名前後が参加、会員が自らの経験や趣味をもとに話題を提供し、歓談しています。昨年度は11月の総会に大学院法学研究科副研究科長の竹中浩教授をお招きし、大学の近況をお聴きしました。最近の学生の気質など興味深いお話を伺いました。

11年度の例会では会員を講師に「和太鼓について」や「源氏物

語に学ぶ」、「県議選を戦い終えて」、「海外を楽しむ、学ぶ」をテーマに30分ほどお話を伺い、その後は楽しく会食をしました。

名古屋待兼会は気軽に参加できる会です。昨年からの開催場所を変更し、会場、料理ともに良くなったと好評ですが、新たな参加者が少なく、特に若い方の参加を期待しています。参加を希望される方は同窓会事務局までご連絡くだされば、幸いに存じます。



経済学部のある豊中キャンパスは、2005年に制定された「大阪大学キャンパスマスタープラン」に沿って整備が進められました。すっかり生まれ変わった現在の様子を紹介します。

ホームカミングデーのお知らせ

2012年4月30日（月・祝）、豊中キャンパスにおいて、ホームカミングデーを開催します。
多くの方々のご参加をお待ちしています。

阪大坂



阪急石橋駅からのプロムナード「阪大坂」。石畳化され立派な門も整備、印象が一変しました。事故防止のため、坂は自転車走行禁止に。駐輪場が設けられています。

坂下にあった医療技術短期大学部（医短）は医学部保健学科となって吹田へ移転。旧医短本館は「大阪大学総合学術博物館」に、大阪の歴史や先端技術を見学できます。

阪大坂周辺は、古くは「たまさか」と呼ばれ、「枕草子」や和歌などにも、その名が見られます。

中山池



阪大坂を上ると、右手に見える「中山池」。周囲に遊歩道が整備され、森林浴もできる洒落た散策コースに。

隣接していた「上山池」は、埋め立てられ、学生交流棟が建設されました。

大阪大学会館



旧制浪速高等学校の校舎だった「イ号館」は去年、大学のシンボルとなる「大阪大学会館」として改装・整備されました。入口にはエレベーターも。館内のホールや講堂にはかつての面影が残り、会議や講演会の会場としても使用することができます。

法経学部棟(左) 法経大学院総合研究棟



最古参の「法経学部棟」は、耐震化工事で外観が変化。向かいには最新の「法経大学院総合研究棟」が竣工。「法経講義棟」は変わらず健在です。



旧制大高 「青春の像」



「旧制浪高生の像」



(左) 旧制大阪高等学校モニュメント「青春の像」。2009年に大高跡地から豊中キャンパス正門前の「大高の森」に移設されました。

(右) 2010年、「待兼山庭園」に建立された「旧制浪高生の像“友よ我らぞ光よと”」。近くには、「待兼童子像」も。

中キャンパス



附属図書館本館は、耐震改修工事を受け、2009年に、「総合図書館」として全面リニューアル。卒業生や学外一般の方も貸出利用することができます。図書館下食堂も広く明るくなりました。月替わり企画など、メニューも豊富に。天津丼の上に麻婆豆腐が乗ったオリジナルメニュー「天津麻婆丼」が一番人気です。

総合図書館



大学教育実践センター



阪大では1994年に教養部を廃止。全学共通教育は、各学部の専門教員を中心に指導に当たっています。この体制強化のため2004年に設置されたのが「大学教育実践センター」です。IT環境完備、談話スペースも各所に。入学から1年半、全学部生がここで学びます。

学生交流棟



上山池を埋め立てて造られた学生交流棟。授業や課外活動に関する手続きを行う「学生センター」や、サークルの練習室など、学生の交流の場となっています。

サイバーメディアセンター



2000年に新設された「サイバーメディアセンター」。情報通信の研究とサービスの拠点です。Windows7の無料インストールや履修登録もここで。

宙「SORA」

学生交流棟の1階にあるカフェレストラン「宙（SORA）」は、ガラス貼りで眺望抜群。女子学生が多いのにも驚かされます。



30年以上ほとんど変わらない「明道館」。以前と比べて、幾分かきれいになった気がしますが、汗臭さや楽器練習音は当時のままです。

明道館



新幹事紹介



60期 代表幹事 大川 淳士

このたび、同窓会60期代表幹事を務めさせていただくことになりました大川淳士と申します。代表幹事という重要な役割を任せていただいたことを嬉しく思っています。

私は、代表幹事の役割は大きく3つあると考えています。まずは、「同期のとりまとめ」です。共にお酒を飲み、真剣に将来を語り合った同期。この4年間で出会うことのできた同期の仲間たちは、自分のなかで大きな糧であり、社会人になっても自分を支えてくれる大切な存在です。この4年間で築き上げてきた関係を維持するだけでなく、今以上に深めていけるよう努めてまいりたいと思います。

次に、「様々な年代の幹事の方々との連携強化」です。在学中は同窓会学生部会の代表を務めていた関係もあり、同窓会の新年会や総会にも参加させていただきました。そのような場で、自分よりも一回り以上も上の同窓生の方々とお話しできたことは大きな刺激になりました。このような、新たな出会いの場を作るのも同窓会の重要な役目だと考えます。

最後は、「在校生との交流の活性化」です。学生部会が主催したOB・OG交流会や募金活動は同窓会のご協力を得て開催したものであり、同窓生の在校生に対する思いがあったからこそ実現できたものです。同窓会の一層の発展のためには、このような在校生との交流が必要不可欠であり、在校生に近い年代の私たちが、その架け橋となっていきたいと思います。

これからも同窓会の発展のためにも尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

OFC 2011年度の活動

☆学生部会の活動支援

学生が企画・運営する就活支援プログラムやOB・OG交流会、震災被災者募金活動などのサポート

☆講演会

7月と11月に開催（11月は東京待兼会などと共催）

☆寄付（公開）講義

前期 学生向け「製薬業界の経営戦略と課題」(株)エースジャパン寄附
後期 一般公開「医療問題を考える」医療法人協和会寄附
詳しくは、同封の「OFCニューズレター」やOFCホームページをご覧ください。

「関西グローバル・ビジネス研究会」のご案内

大阪大学大学院経済学研究科 教授 高橋 伸光

2010年10月から、関西地区の国際ビジネスの研究者や実務家、企業の法務・人事等の担当者約40名に参加いただき、国際関連事業に関する理論や実例の報告、意見交換等を行っています。研究会終了後には懇親会を開催し、参加者間の親睦を図っています。

年4回研究会を開催し、今回は、2012年7月28日（土）午後から、大阪市中央区民センターにて開催の予定です。興味を持たれた方は、下記事務局に案内状を請求ください。

事務局：西口博之（平安女学院大学 国際観光学部 教授）duaag107@sakai.zaq.ne.jp

大阪大学未来基金よりのお知らせ

日頃より温かいご支援をいただきありがとうございます。

本年4月、未来基金に「経済学部・経済学研究科教育研究事業」を設置いたしました。この事業へのご寄付は、経済学部・研究科の教育・研究の充実に限定して活用されます。

同窓生の皆さまには、改めてご案内を送付させていただきます。よろしくお願いたします。

平成23年度経済学部卒業者就職先 (大学院卒を含む)

就職先	人数	就職先	人数	就職先	人数	就職先	人数
外務省	1	アステラス製薬(株)	1	日本銀行	1	(株)サカイ引越センター	1
経済産業省	1	住友化学(株)	1	(株)ゆうちょ銀行	1	(株)共同通信社	1
国税庁大阪国税局	1	MeijiSeikaファルマ(株)	1	(株)三菱東京UFJ銀行	8	(株)読売新聞大阪本社	1
国土交通省近畿地方整備局	1	花王(株)	1	(株)みずほフィナンシャルグループ	1	(株)中日新聞社	1
財務省近畿財務局	2	(株)コーセー	1	(株)みずほ銀行	1	関西テレビ放送(株)	1
鹿児島県庁	1	富士フイルム(株)	1	(株)三井住友銀行	2	朝日放送(株)	1
高知県庁	1	日医工(株)	1	三井住友トラスト・ホールディングス(株)	2	テレビ大阪(株)	1
徳島県庁	1	住友ゴム工業(株)	1	(株)京都銀行	1	西日本電信電話(株)	4
奈良県庁	1	旭硝子(株)	1	(株)池田泉州ホールディングス	4	(株)ゼンリン	1
兵庫県庁	1	住友金属工業(株)	1	(株)池田泉州銀行	1	(株)ジュビターテレコム	1
三重県庁	1	古河電気工業(株)	1	(株)南都銀行	1	(株)DYM	1
神戸市役所	1	住友電気工業(株)	2	(株)百五銀行	2	日本ビューレット・バックカード(株)	1
池田市役所	1	日本電気(株)	1	(株)北陸銀行	1	(株)日立ソリューションズ	1
大野市役所	1	シャープ(株)	2	三井住友カード(株)	1	関西電力(株)	1
岡山市役所	1	富士通(株)	2	近畿産業信用組合	1	中部電力(株)	1
橿原市役所	1	三菱電機(株)	3	兵庫県信用農業協同組合連合会	1	大阪ガス(株)	2
墨田区役所	1	(株)日立製作所	1	大和証券(株)	1	(株)日立ビルシステム	1
国立大学法人大阪大学	1	トヨタ自動車(株)	1	みずほ証券(株)	1	あらた監査法人	2
国立大学法人神戸大学	1	(株)GSユアサ	1	(株)かんぽ生命保険	1	あずさ監査法人	1
(株)銭高組	1	(株)キーエンス	1	第一生命保険(株)	2	税理士法人プライスウォーターハウスクーパース	1
日本たばこ産業(株)	1	(株)不二越	1	日本生命保険(相)	2	(株)オースビー	1
味の素(株)	1	三宝電機(株)	1	明治安田生命保険(相)	1	アクセンチュア(株)	1
サントリーホールディングス(株)	1	伊藤忠商事(株)	2	三井住友海上火災保険(株)	1	日本コンベンションサービス(株)	1
ネスレ日本(株)	1	住友商事(株)	4	東京海上日動火災保険(株)	2	レバレッジズ(株)	2
森永乳業(株)	1	丸紅(株)	2	東京海上日動安心110番(株)	1	合計(就職)	148
日本ハムグループ	1	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	1	イオンモール(株)	1	進学先	人数
三起商行(株)	1	豊田通商(株)	1	(株)ウィル	1	東京大学大学院	2
宇都興産(株)	1	(株)サンエース	1	西日本旅客鉄道(株)	2	大阪大学大学院	14
JX日鉱日石エネルギー(株)	1	蝶理(株)	1	西日本高速道路(株)	1	合計(進学)	16
武田薬品工業(株)	1	泉(株)	1	西日本鉄道(株)	1		

(注)平成24年2月26日現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです。



経済学部卒業生インタビュー

今回は経済学部経済学科 85 年卒業（新 33 期）

日本クラフトフーズ株式会社 代表取締役社長

井上ゆかりさんにお話を伺いました。

・現在のお仕事の内容はどんなものですか。

大学を卒業してP&Gで17年間働いた後、MHDディアジオ・モエ・ヘネシーを経て、2005年に日本クラフトフーズ(旧キャドバリー・ジャパン)に入社しました。弊社は「クロレッツ」「ストライド」「リカルデント」などのガム、「キシリクリスタル」「ホールズ」などのキャンディを開発、製造、販売しているお菓子会社です。クラフトフーズのビジョンは「Make Today Delicious(今日をおいしく)」で、私達の関わるすべての皆様の毎日をおいしく、楽しく、充実したものにすることが使命だと考えています。日本では、「日本で最も優れた、最も成長の著しいお菓子会社になる。ガムとキャンディでリーダーになる」というビジョンを打ち立てました。これを達成するために必要な戦略を考え、社員の気持ちを一つにまとめてやる気を出してもらい、成果を出すことが私の仕事です。また、本社に対してアピールし、日本への長期的な投資を継続してもらうことも私の重要な役割の一つです。現在は、日本の開発力やマーケティング力を海外に発信して認めてもらうこと、海外で働けるような実力を持つ社員を育てていくことにも注力しています。

・大学時代思い出に残ることはありますか。

落語研究会と経済学部中心のテニス同好会に入っていたので、沢山の先輩、友人、後輩に出会うことができ、本当に楽しい4年間でした。落研では、お囃子を担当する下座班お三味線担当で、おっしょはんに稽古をつけていただくため、土曜日に長居まで通っていたのも懐かしい思い出です。

・学部の授業や大学時代の経験で役立ったことがあればお願いします。

蟬山ゼミで先生に教えていただいた、社会人としての心構えが役に立っています。「日経新聞はどんなに忙しくても毎日購読する」、「飲み会の次の日はどんなにしんどくても早く出勤し、お礼のあいさつもきっちりする」、「判断に迷ったら、経済の原則、世の中は需要と供給の均衡でなりたっている、ということを出し出す」、といったことですが、今でも時折思い出し、感謝しています。

・就職時は雇用機会均等法施行以前でしたが、ご苦労なられた点がありますか。

同級生の男子学生にはOBから声がかかり山のようなダイレクトメールが来ているなか、私たち女子学生は完全に蚊帳の外といった感じでした。キャリア志向でした

ので、女性に平等に責任ある仕事を与え、育て、昇進の機会を与えてくれるのは外資系だろうという、蟬山先生のアドバイスに従いました。関西ではあまり数がなかったのですが、縁あって、その当時御堂筋に本社があったP&Gに就職できて幸運でした。入社してから、英語やコミュニケーションで大変苦労しました。

・仕事をする上でいつも心がけてこられたことはありますか。

グローバル企業で仕事をする上で大切と思っていることは、「1. Can-do Attitude キャン・ドウ・アティチュード、2. Inspiring Trust インスパイアリング・トラスト、3. Dealing with Ambiguity ディーリング・ウィズ・アンビグイティ」の3つだと考えています。

Can-do Attitudeとは、きっちり目的を定め、達成できると信じて進んでいくことです。自分の仕事範囲、責任範囲を積極的に広げ、挑戦していくことで、活躍できる場を広げることができます。Inspiring Trustとは、信頼を得ること。初めてアメリカで仕事をしたときに心掛けたのは、小さくてもいいから成功体験をどんどん積み重ねることでした。そうすることで協力者が現れてきますし、新しいプロジェクトにも携われるようになって、より多くのことを学べるのです。

Dealing with Ambiguity は、曖昧な状況の中でも物事を進めていくことです。曖昧な状況とは、先が霧に包まれていて、目標がどこにあるのかもわからないような状況です。その中でチームやプロジェクトをしっかりマネージできるかどうかで、リーダーシップが試されます。何が一番大事なのか、何をすべきなのかを自分でしっかり考え、自分自身で霧を晴らす努力をすることが必要だと思います。

・これから社会に出る、現役の学生にアドバイスをお願いします。

大変厳しい世の中ですが、Be Ambitiousと申し上げたいです。右肩上がりの経済では、自然体にしていれば、自分も右肩上がりを享受できるでしょうが、右肩下りの状況では、高い目標を掲げ努力しなければ、どんどん周りに流されてしまいます。理想と現実は違うこともあるでしょうが、その中で自分なりに仕事の意味を見出すことが大切だと思います。そうすれば楽しくなり、いい仕事ができると思います。80・20のルール(80%うまくできれば良いという考え)で、完璧を求めず決断し、飛び込んでみる。そこで成功し、次の広い舞台へと羽ばたいていく。そんな長い旅に元気を与えてくれるのは、夢と大志だと思うのです。

1.同窓会名簿について

昨年度の会報でもお知らせしましたとおり、本年度は、従来4年に1回発行しておりました名簿を紙ベースから電子化する作業を始めます。個人情報保護法等の社会情勢の変化もあり、名簿発行に伴う苦情等が同窓会事務局に寄せられていることから、代表幹事会の議決により、電子化することになりました。

事務局としては、期数、氏名、住所、勤務先、所属ゼミ、出身高校を基本として、会員から要望の高い情報を付加させること、初期費用として500万円程度を見込んでおり、2013年4月を目処に供用開始する予定で作業を進めています。電子化した名簿の閲覧は、従来の紙ベースの名簿と同様に当該年度の年会費を納入された会員に限る方針です。

名簿作成の詳細は、同窓会のホームページに掲載する予定です。会員の皆様のご意見を頂戴したいと存じます。

今回の名簿作成の情報提供にご協力いただくとともに、その間、名簿が更新できずにご不便をおかけしますこととお詫び申し上げます。また、期会の名簿等の会員情報が必要な方は同窓会事務局までご連絡をいただければ、同窓会の個人情報保護規程等に基づき対応させていただきますので、よろしく願い申し上げます。

2.会員管理部会からのお願い

年会費

- ・年会費は年5,000円です。
- ・同封の払込取扱票により郵便局窓口で払い込んでください。

年会費免除及び協賛金

- ・会則により、卒業後40年を経過（正会員資格取得後40年経過）した方は年会費が免除されます。
- ・年会費が免除される方でお志のある方には、協賛金をお受けしています。
- ・協賛金は一口1,000円で、できれば3口以上をお願いしています。

す。同封の払込取扱票により郵便局窓口で払い込んでください。

年会費の口座振替

- ・年会費は銀行等の口座から自動振替が利用できます。
- ・振替日は7月17日です。
- ・口座振替を希望される方は、事務局へご連絡ください。申込用紙を送らせていただきます。
- ・ただし、口座の振替は来年からとなりますので今年の年会費は郵便局の窓口でお支払いください。
- ・便利で確実な口座振替を是非ご利用ください。

同窓会会員証（GCCOカード）

- ・年会費及び協賛金をお支払いいただいた方には、同窓会会員証をお送りしています。会員証をご持参いただきますと、同窓会が加入したハービスプラザ6階の会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」をメンバー扱いでご利用いただけます。なお会員証は隔年発行です。本年発行分は昨年発行分と同じく来年8月までの有効期限となります。

名簿情報確認のお願い

- ・現在、住所等不明者が多数に上っております。住所・電話番号や勤務先等の変更があった方は、必ず同窓会事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。特に、代表幹事の方には、同期の方の確認作業等をよろしくお願いいたします。
- ・同封の年会費の払込取扱票の下部に、同窓会で管理しているデータを印字していますので、ご確認の上、誤り・変更等があれば赤字で修正し、同封の連絡カードに貼付してご返送ください。
- ・同窓会事務局へのご連絡は、メールまたは電話（平日の13時～17時）・FAXでお願いいたします。
Eメール：machikane@econ.osaka-u.ac.jp
電話：(06)6850-5275 FAX：(06)6850-5276

事務局からのお知らせ

事務局長 安竹 素之 (新28期)



経済学部同窓会の皆さん、このたび西尾方宏さん（新23期）の後を引き継ぎ、事務局長を務めることになりました安竹と申します、よろしくお願いいたします。

昨年は東日本大震災の被災者支援と災害復興の一助とするため、学生部会と同窓会の共同で義援金の募集を行いました。お陰様で、1,473,648円の募金をいただき、日本赤十字社へ送金することができました。ご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

昨年7月の総会で部会長が大幅に入れ替わりしました。総会部会長は富田安信さん（新24期）から田中俊男さん（新31期）、組織部会長は嶋原和雄さん（新23期）から寺西賢作さん（新23期）へ、広報部会長は豊田尚吾さん（新33期）から河添正己さん（新29期）へそれぞれ交代しました。また、就職支援部会は、学生部会を立ち上げ、業務が移行したため廃止となり、部会長の金子雅

彦さん（新24期）は退任されました。その後、1月から白井憲治郎さん（新46期）に代わって竹添泰之さん（新45期）に会計をお願いすることになりました。事務局も室長の蒲田建三さんが退任され、事務局員の林幸路さんの後任を千島あけみさんをお願いすることになりました。前任の方々にはこれまで同窓会運営にご尽力いただき誠にありがとうございました。

同窓会活動は、ここ数年、学生部会の立ち上げ、青年会の活動開始と学生と同窓会をつなぐ取り組みが進められ成果をあげてきました。引き続きこの活動を強化するとともに、同窓会の基盤となる既卒業者の参加拡大を働きかけ、活性化していきたいと思っています。

新任の部会長、事務局とともに、皆さんの期待に応えられるよう取り組んでまいりますので、同窓会諸兄弟にはより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

■第8回ホームカミングデイのお知らせ

毎年5月の連休期間中に全学のホームカミングデイにあわせて経済学部ホームカミングデイを豊中キャンパスで開催しています。今年は4月30日に開催します。経済学部同窓会ホームページ (<http://www.machikaneyama.jp>) にて詳細をお知らせしますので、奮ってご参加ください。お待ちしております。

